

新しい検査機器を導入しました



THINKA RT-401（アークレイ株式会社）

腎臓の機能が低下しても腎臓全体の75%以上が障害を受けないと血液検査には反映されません。そのため腎機能低下を早期に発見するには尿検査において「尿蛋白クレアチニン比」を測定することが重要とされています。

今まではこの「尿蛋白クレアチニン比」は院内で測定することができなかったため、尿を外部検査センターに送り、そこで測定をお願いしておりました。この方式だと結果が確定するのに2~3日程度かかり迅速性に欠けることが問題でした。

今回導入した検査機器によって、これからはこの「尿蛋白クレアチニン比」が院内において数分程度で測定できるようになりました。

「最近尿の量が多い」、「尿の色が薄い」、「飲水量が多い」など感じるようでしたら、尿検査を検討されるようお勧めいたします。